

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 7年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 東神奈川 教室

保護者等数(児童数) 38人 回収数 31 割合 81%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	3	0	3	少し狭いかな、、という印象	午前クラスと午後クラスにわけることで活動スペースを確保しています。終日利用時については公園など外出をするように心がけています
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	4	0	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27	1	0	3		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	29	2	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	0	0	1		専門職の児童発達管理責任者を配置することで、より正確な評価に応じて計画を作成しています。地域支援については、教室単位で取り組めるよう検討中です
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29	0	2	0	個別療育の時間が短くなっている	必要に応じて、個別支援が必要な場合には実施しております。年齢や発達状況に応じて、小集団での支援に切り替えることもあります
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	29	0	2	0	いつも楽しそうなプログラムが用意されている 外出プログラムが少ない	外出プログラムは児童の安全を確保できる状況が整えば外出しています。近隣の公園が多いですが、来年度は外出プログラムも検討しています
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	1	4	14		
保護者への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	0	0	1		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	30	0	1	0		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	17	6	3	5	今後、ペアトレーニングがあれば参加したい	オンラインでのペアトレーニングのニーズがあるので、是非、教室としてもチャレンジしてみたいと考えています
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	1	0	1	様子をよく教えてくれる	送迎時にお伝えする以外にも、日々のサービス提供記録表も活用して共通理解を深めて行けるよう心がけています
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	5	2	0	オンラインでの面談を希望します	日時や内容を検討して相談週間を設けることを検討します
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	1	9	14	今後予定されているかどうか分からない	教室に集まる保護者会は、土曜日・日曜日も運営しているため難しいです。オンラインなどの実施を視野に入れて検討します	

	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	27	4	0	0	いつも迅速に対応してくれる	現在ご希望者のみご相談を受けていますが、みなさんから申し入れを受けれる体制を整えます
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	1	0	0		今年度、システムを導入したので、うまく活用して情報伝達できるようになります
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25	5	0	1		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	24	4	0	3		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	22	2	1	6		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	0	0	9		月に一回、避難訓練を実施しています。緊急時に備えて備えをいたします
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	28	2	0	1	とても楽しみにしている。	それぞれの年齢、発達に応じた支援を心がけます
	23	事業所の支援に満足しているか	30	1	0	0	送迎が親の負担軽減になっている 職員が皆優しいので入所して良かった	

583 43 24 63

82%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 東神奈川教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0		
	2 職員の配置数は適切であるか	7	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	勤務が少ない非常勤職員にも共有をはかれるよう、オンラインコミュニケーションツールを活用しています	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	忘れ物や取り違いの業務改善に取り組み中。入室からの動線・ロッカーの使用方法などを見直し、職員の意識向上を図っています	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		職員が全員集まる時間が捻出できないので、今後はオンラインで手軽に参加できる仕組みを構築します
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		現在のアセスメントシートにツールを追加することを検討します
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0		児童支援計画を現在のHUGシステムに搭載することで職員の共有を促進できるように改善予定です
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	5領域に沿ったプログラムを日替わりで実施できるようチームで立案しています	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	人気プログラムや再評価が必要なプログラムについては繰り返し実施するが、他は新鮮なプログラムを用意しています	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		送迎との兼ね合いで十分な時間を取れていないので運用を見直します
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		送迎との兼ね合いで十分な時間を取れていないので運用を見直します	

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	実施する際には管理者・児発管だけでなく、日常の関わりが多い職員も同席するよう心掛けています	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	0	民間の訪問リハビリテーションとも連携をとり支援の統一を図っています	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	必要に応じて利用者の情報交換を行っています	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	専門機関や民間のリハビリ事業所職員に訪問いただきアドバイスをいただいています	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	0		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎時の申し送りだけでなく、HUGシステムを活用して小まめに状況をお伝えするようにしています	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	1		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時に十分な時間を割いて説明しています	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	相談いただいたことは教室内で意見を集約し、丁寧に対応させていただいています	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0		利用者のニーズにあわせて、ペアレントトレーニングを兼ねて実施を検討しています
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	小さなご意見も丁寧かつ迅速に対応しています。重要な問題が起きた時には社内におけるレポートライン通りに報告し、適切な対応ができるよう心がけています	

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	全社で日程を定め定期的な訓練を実施しています	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	全職員で共有しております	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0		全社で事例集作成を検討しています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	全社で日程を定め定期的な訓練を実施しています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0		